

経営評価シート

1. 団体の基本的情報							
団体名	(公財)福岡県女性財団			設立年月日	平成8年4月1日		
所在地	春日市原町3丁目1番地の7						
出資総額		200,000千円	主な出資者	出資額		出資割合	
県出資額		200,000千円		千円		%	
県出資割合		100.0%		千円		%	
				千円		%	
設立目的等	女性問題に関する県民の自主的で創造的な活動を支援し、相互の連携を図ることにより、男女の自立と対等な社会参画の推進に寄与することを目的とし、国及び県の男女共同参画に関する法律、条例、計画に規定される理念や施策の実現、推進に資する事業を行う。						
現状の主要事業の内容							
事業名	事業内容						
情報・調査事業	ライブラリー(図書資料室)の図書の購入、地域における男女共同参画等の情報の収集、情報誌「あすばるーん」等の作成発行、ホームページによる情報提供、女性ロールモデルの発掘・紹介、女性の社会参画のための調査・研究						
相談支援事業	電話、面接による総合的な相談の実施、法律やDV等に関する専門的な相談の実施、県内の女性関連の相談業務に関わる機関・相談員を対象とする連携会議、研修等の運営						
人材育成事業	男女共同参画社会づくりに先導的に取り組む人材養成講座、指導的地位で実践的に活躍する女性の人材養成講座、女性の活躍推進に向けた企業内研修の支援を実施						
社会参画環境整備事業	県民活動の促進・交流を図るため県民参加型の「あすばる男女共同参画フォーラム」の実施、福岡国際女性シンポジウムの実施、女性による元気な地域づくり応援講座事業の実施						
事業実績に関する情報	単位	H25	H26	H27	H28	H29	備考
来館者数	人	143,047	131,417	124,091	127,541	134,825	
図書蔵書数	冊	36,542	36,742	36,948	35,876	36,235	
研修養成講座参加者数	人	6,799	4,800	3,678	4,194	6,245	
あすばる男女共同参画フォーラム参加者	人	5,844	2,289	3,247	5,105	5,636	
DV相談受理件数	件	472	339	590	407	389	
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	代表理事 木下 幸子			区分	非常勤		
常勤役員名	常務理事 神崎 智子			区分	北九州市OB 常勤 センター長兼務		
		H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1
常勤役員数(※)		1名	1名	1名	2名	2名	1名
職員数	常勤(正規)	4名	4名	5名	5名	5名	5名
	うち プロパー	-	-	-	-	-	-
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	10名	10名	16名	16名	16名	15名
	合計	14名	14名	21名	21名	21名	20名
増減の主な理由							
H27年4月、総務課設置及びあすばる相談室の体制充実による人員増(総務課設置により県派遣職員1名増、嘱託2名増。相談室には嘱託4名増)。 H27年8月、非常勤役員だった理事長を常勤化。H29年5月、代表者が常勤(県OB)から非常勤(民間)に交代。 H30年3月、嘱託(非常勤)職員退職により1名減。							
3. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役員再掲)(※)		H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1
県派遣		3名	3名	4名	4名	4名	5名
県OB		1名	1名	1名	2名	2名	-
財政支出		H25	H26	H27	H28	H29	備考
出資金		-	-	-	-	-	
貸付金		-	-	-	-	-	
補助・負担金		-	-	-	-	-	
委託料		78,986千円	83,186千円	95,493千円	99,724千円	89,453千円	
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H29~H33)							
<p>事業活動・住民サービスについては、事業運営を行っている「あすばる」の機能強化を通してサービス向上に努める。まず、取組の効果を高めるために、市町村・地域団体・企業・教育機関等との連携を深め、それぞれの取組を支援する。次に、より広く啓発するために、ホームページや広報誌の内容を充実し、効果的な情報の発信を行う。また、研修事業によりリーダーとなる女性人材を育成するとともに、活躍の機会も確保する。併せて、関係機関と連携することで、困難を抱える女性に対する相談の充実を図る。</p> <p>財務会計については、引き続きコスト削減を行い、自主財源の確保に努める。</p> <p>内部管理については、求められる取組効果を最大限に引き出すため、業務に携わる職員の専門性や資質の向上を図ることとし、研修の充実に取り組む。</p>							
4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況							
別紙に記載							

※役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は、反映していない。

5. 経営状況(公益法人)							
項目	単位	H25	H26	H27	H28	H29	
<b>【貸借対照表】</b>							
資産合計	千円	212,584	216,255	226,235	217,589	214,768	
うち金銭債権	千円	-	3,640	177	409	513	
うち特定資産	千円	-	-	-	-	-	
負債合計	千円	8,056	11,019	18,574	10,414	8,329	
うち借入金額	千円	-	-	-	-	-	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
正味財産合計	千円	204,528	205,236	207,660	207,175	206,438	
県債務保証額又は損失補償額	千円	-	-	-	-	-	
県損失補償債務残高	千円	-	-	-	-	-	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
<b>【正味財産増減計算書】 Sheet4 法人全体より転記</b>							
経常収益 A	千円	84,117	92,074	105,773	110,425	100,789	
うち県財政支出額 B	千円	78,986	83,186	95,493	99,724	89,453	
内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-	
内訳:委託料	千円	78,986	83,186	95,493	99,724	89,453	
うち最も多額な項目	項目名	基本財産利息収入	基本財産利息収入	受託料収益	受託料収益	受託料収益	
	千円	4,692	4,692	5,255	5,539	5,854	
経常費用 C	千円	84,358	91,235	103,349	110,910	101,526	
うち人件費総額 D	千円	52,367	54,611	65,262	74,146	67,009	
評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-	
経常増減額 F=(A-C+E)	千円	△ 241	840	2,424	△ 486	△ 737	
経常外損益 G	千円	△ 7	△ 131	-	-	△ 0	
法人税、住民税及び事業税 I	千円	-	-	-	-	-	
当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	△ 248	708	2,424	△ 486	△ 737	
当期指定正味財産増減額 K	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	78,986	83,186	95,493	99,724	89,453	
<b>【財務指標】</b>							
正味財産比率	%	96.2%	94.9%	91.8%	95.2%	96.1%	
県財政支出率 (=B/A)	%	93.9%	90.3%	90.3%	90.3%	88.8%	
人件費率 (=D/A)	%	62.3%	59.3%	61.7%	67.1%	66.5%	
収益事業比率	%	-	-	-	-	-	
受託事業外注費比率	%	7.9%	6.4%	9.3%	9.6%	8.5%	
<b>【団体毎の経営評価指標】</b>							
来館者数	人	143,047	131,417	124,091	127,541	134,825	
研修養成講座等参加者数	人	6,799	4,800	3,678	4,194	6,245	
経常費用計	千円	84,358	91,235	103,349	110,910	101,526	
<b>【常勤役職員の報酬・給与に関する状況(平成29年度)】</b>							
常勤役員平均年齢	64.0歳	常勤役員平均年収	7,264千円	常勤職員平均年齢	52.2歳	常勤職員平均年収	7,830千円
<b>【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】</b>							
<p>経常収益のうち受託料収益は、管理部門統合による人権啓発情報センターからの人件費及び事務費である。  正味財産比率が増加した主な要因は、未払金の支払により資産合計額が減ったことによるもの。</p>							

## 6. 団体(経営責任者)の自己点検評価

当財団では、平成28年度に、財団が事業運営している福岡県男女共同参画センター「あすばる」における、今後の男女共同参画の取組の推進のための中長期ビジョン「あすばる2020」を策定。より多くの県民に男女共同参画の情報を届けるためには、活動の各推進主体(市町村や教育機関、地域の活動団体や企業)に働きかけることが効果的だとして、男女共同参画を推進する組織や団体同士をつなげ、その活動をささえ、盛り上げていくことがこれからの「あすばる」の役割とした。

平成29年度は、事務の効率化や事業効果の向上に努めつつ、ビジョンの方針を踏まえて、下記のような事業を通じて、男女共同参画センターの参加交流機能、人材育成機能、研修養成機能、相談支援機能の充実に取り組んだ。この結果、HP閲覧数や相談件数、各種セミナー参加者数について目標を達成し、一定の成果をあげた。

・情報提供については、企画展示により関連情報や収集図書の紹介に努めたほか、企業や地域団体など、対象に応じた特集記事を組むなど情報誌の内容を刷新した。また、平成28年度に新規開設したウェブサイトと旧ウェブサイトを統合してホームページ閲覧者の利便性を高めるとともに、メールマガジンやSNSも活用し、各種セミナーや事業の告知、新刊図書や情報誌などの発信を行った。併せて、県内の各分野で活躍する「女性ロールモデル」についても、ホームページ等を通じて紹介した。

・相談支援では、総合相談や専門相談を通じて、女性が抱える心と身体、家庭、就業等広範多岐にわたる相談に対応し、相談者自身が問題解決に向けて自己決定していけるよう支援した。また、隣接する県女性相談所と連携し、配偶者や交際相手からの暴力に悩む女性の相談に応えるほか、市町村女性センター等の相談員向け研修会を、共催するなどにより、関係機関の連携強化に努めた。さらに、平成29年7月に発生した九州北部豪雨で被災した女性を支援するため、7月20日から12月28日まで、相談時間を延長して対応した。

・人材育成では、行政職員を対象にしたセミナー(H29年度:387人)や、指導的地位で活躍する女性を育成するための「ふくおか女性いきいき塾」(H29年度:塾生30人、全10回)、企業等が女性登用や働きやすい職場環境を整備を進めるために実施する社内研修等への講師派遣を実施した。(H29年度:派遣回数31回、参加者延べ721人)

・社会参画整備事業としては、「あすばる男女共同参画フォーラム2017」(H29年度:参加者5,636人)を2日間にわたり開催し、男女共同参画社会づくりに向けた更なる県民活動の促進・交流及び県民の啓発を図った。また、「女性による元気な地域づくり応援事業」として、地域の男女共同参画団体と市町村が協働し、地域の女性を対象に地域活動の実践力を高める連続講座を県内6地域において企画実施した。(連続講座参加者数:158人)

## 7. 外部専門家の意見

- ・民間企業、関係団体及び大学等と連携した様々な取組を実施しており、研修養成講座参加者数、センター入館者数及び事業参加者数は前年度から増加している。また、相談受理件数も、前年度から増加している。
- ・センターでは平成28年度に策定した中長期ビジョンを踏まえ、県が策定した男女共同参画計画等に基づき、環境やニーズの変化等を踏まえ、民間企業、関係団体、大学等との連携を図りながら、実施する事業及びその実施方法を引き続き検討し、実施することが求められる。さらに、実施に当たっては、団体としても人材の確保及び育成を進めることが望まれる。

## 8. 経営評価委員会による経営評価結果

- ・ライブラリーにおける企画展示の実施やホームページの利便性の向上など、情報の提供・発信を通じた広報啓発の強化を行っている。
- ・平成29年7月に発生した九州北部豪雨で被災した女性を支援するため、7月20日から12月28日まで、相談時間を延長して対応している。
- ・地域や企業等において指導的地位で活躍するこれからの女性リーダーを育成するための連続講座の開催や、女性の活躍推進に向けた企業内研修の支援など、働く場や地域などへの働きかけを進めている。また、全国女性会館協議会からの助成を受け、男性・子どもの生活自立支援を目的としたワークショップ事業を開催し、他機関との共同実施も行っている。
- ・中期経営目標における改善目標については、概ね達成しており、引き続き、第4次福岡県男女共同参画計画、福岡県総合計画など、県の施策の方向性に沿った具体的な事業展開を進められたい。
- ・なお、自主財源の確保について、引き続き検討を行うとともに、事業の実施においては、他機関等との共同実施などを積極的に図られたい。

(注)表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。

4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段:計画 下段:実績						改善目標区分の達成に向けた2017年度(H29)の取組状況
				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	
事業活動・住民サービス  (計画性)	①様々な推進団体と連携・協働し事業を推進するとともに、自治体職員の男女共同参画についての理解を深める	推進団体との協働事業数	件		18				26	<p>・推進団体との協働事業については、市町村と地域の男女共同参画団体との協働事業を支援する元氣塾等の実施を積極的に呼びかけ、29年度は昨年度を上回る19事業を実施した。</p> <p>・各種セミナーや事業の告知、新刊図書や情報誌などのセンター事業の発信の他、国や県の施策情報なども積極的に発信した。併せてホームページをより閲覧しやすいように改修を行ったことなどにより、ホームページのアクセス数は大幅に増加している。</p> <p>・いきいき塾の修了生を対象にフォローアップ講座を実施し、リーダーとしての資質向上を図るとともに、修了生間のネットワーク形成を支援。継続して社会活動ができるよう支援を行った。</p> <p>・相談件数については、平成27年度から相談日、相談時間を拡大。併せて、7月に発生した九州北部豪雨で被災した女性を支援するため、7月20日から12月28日まで、相談時間を延長して対応したことなどにより増加した。</p>
		自治体職員のおすばる事業参加者数	人	1,198	1,254				1,400	
	②新しく開設したおすばるプラス等を通じて、推進団体の取組に役立つ情報を提供する	ホームページアクセス数	件	160,449	170,092				170,000	
		おすばるトピックス・統計ポータルなどへの情報掲載件数(H29.3運用開始)	件	-	52				100	
	③県内各地で活躍するリーダー人材を育成し、修了後には講師派遣などで活躍する機会を創出する	女性リーダー人材育成数(育成事業修了者累計数)	人	298	486				1,200	
		育成した女性人材の社会活動件数(講師、パネラー件数)	件	390	475				750	
④相談事業を通じて、困難を抱える女性のニーズに対応し、自立支援や専門家への紹介を促進する	相談件数	件	4,289	4,530				4,300		
財務会計  (経済性効率性)	①資産運用益の確保等により安定した財政基盤を確保する	正味財産比率	%	95.2	96.5				96.5	<p>・正味財産比率は昨年度より改善しているが、固定資産の減価償却に伴い総資産が縮小したこともあり、目標数値に及ばなかった。</p> <p>・事業において受講料徴収を行うとともに、全国女性会館協議会からの助成金を受けて講座を行い、自主財源の獲得に努めた。</p>
		県財政支出率	%	90.3	90.3				90.3	
	②事業を効率的に実施し、自主財源の増加を図る	講座等の実施費用獲得額	千円	130	262				300	
内部管理  (健全性等)	①業務に携わる職員の資質向上を図る	研修の実施・派遣	回	32	30				30	<p>・研修の実施・派遣については、県職員研修所研修を積極的に活用し、職員の資質向上に努めた。</p> <p>・人事評価については、制度導入に向けて、他の類似財団の取組状況等の聞き取り等を行った。</p>
		人事評価の実施	-	-	検討				実施	
達成状況(まとめ)										
<p>・12指標中、平成29年度目標を達成しているものは11指標である。</p> <p>・事業活動においては、女性の社会進出を促進するため、人材育成やロールモデルの発掘・紹介に努めたり、ホームページの充実等により情報発信を強化するなどして、目標数値も達成し一定の成果をあげた。また、他機関との連携強化により幅広い分野での事業展開を行うことができた。</p> <p>・内部管理においては、県内外で行われる関係機関が実施する研修への積極的な参加により、職員の専門性を高め、資質向上を図ることができた。</p>										

5-②. 経営状況(内訳表)							
項目	単位	H25	H26	H27	H28	H29	
<b>【正味財産増減計算書】</b>							
法人全体 ① ③	経常収益 A	千円	84,117	92,074	105,773	110,425	100,789
	うち県財政支出額 B	千円	78,986	83,186	95,493	99,724	89,453
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	78,986	83,186	95,493	99,724	89,453
	うち最も多額な項目	項目名	基本財産利息収入	基本財産利息収入	受託料収益	受託料収益	受託料収益
		千円	4,692	4,692	5,255	5,539	5,854
	経常費用 C	千円	84,358	91,235	103,349	110,910	101,526
	うち人件費総額 D	千円	52,367	54,611	65,262	74,146	67,009
	評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F=(A-C+E)	千円	△ 241	840	2,424	△ 486	△ 737
	経常外損益 G	千円	△ 7	△ 131	-	-	△ 0
	法人税、住民税及び事業税 I	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	△ 248	708	2,424	△ 486	△ 737
当期指定正味財産増減額 K	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	78,986	83,186	95,493	99,724	89,453	
公益目的 事業会計 ①	経常収益 A①	千円	74,593	87,382	95,826	100,193	90,243
	うち県財政支出額 B①	千円	74,155	83,186	95,493	99,724	89,453
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	74,155	83,186	95,493	99,724	89,453
	うち最も多額な項目	項目名	受講料収益	受取国庫助成金	受取民間助成金	雑収益	雑収益
		千円	342	3,640	200	329	509
	経常費用 C①	千円	74,788	86,544	95,170	103,067	92,782
	うち人件費総額 D①	千円	47,014	51,635	57,988	68,268	60,080
	評価損益等合計額 E①	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F①=(A①-C①+E①)	千円	△ 194	839	656	△ 2,874	△ 2,540
	経常外損益 G①	千円	△ 7	△ 131	-	-	△ 0
	他会計振替額 H①	千円	-	47	1,517	2,494	1,862
	法人税、住民税及び事業税 I①	千円	-	-	-	-	-
当期一般正味財産増減額 J①=(F①+G①+H①)-I①	千円	△ 202	755	2,173	△ 380	△ 677	
当期指定正味財産増減額 K①	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L①	千円	74,155	83,186	95,493	99,724	89,453	
収益事業 等会計 ②	経常収益 A②	千円	/	/	/	/	/
	うち県財政支出額 B②	千円	/	/	/	/	/
	内訳:補助負担金	千円	/	/	/	/	/
	内訳:委託料	千円	/	/	/	/	/
	うち最も多額な項目	項目名	/	/	/	/	/
		千円	/	/	/	/	/
	経常費用 C②	千円	/	/	/	/	/
	うち人件費総額 D②	千円	/	/	/	/	/
	評価損益等合計額 E②	千円	/	/	/	/	/
	経常増減額 F②=(A②-C②+E②)	千円	/	/	/	/	/
	経常外損益 G②	千円	/	/	/	/	/
	他会計振替額 H②	千円	/	/	/	/	/
	法人税、住民税及び事業税 I②	千円	/	/	/	/	/
当期一般正味財産増減額 J②=(F②+G②+H②)-I②	千円	/	/	/	/	/	
当期指定正味財産増減額 K②	千円	/	/	/	/	/	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L②	千円	/	/	/	/	/	
法人会計 ③	経常収益 A③	千円	9,524	4,692	9,948	10,232	10,546
	うち県財政支出額 B③	千円	4,832	-	-	-	-
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	4,832	-	-	-	-
	うち最も多額な項目	項目名	基本財産利息収入	基本財産利息収入	受託料収益	受託料収益	受託料収益
		千円	4,692	4,692	5,255	5,539	5,854
	経常費用 C③	千円	9,570	4,691	8,180	7,843	8,744
	うち人件費総額 D③	千円	5,354	2,976	7,274	5,878	6,929
	評価損益等合計額 E③	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F③=(A③-C③+E③)	千円	△ 46	1	1,768	2,389	1,803
	経常外損益 G③	千円	-	-	-	-	-
	他会計振替額 H③	千円	-	△ 47	△ 1,517	△ 2,494	△ 1,862
	法人税、住民税及び事業税 I③	千円	-	-	-	-	-
当期一般正味財産増減額 J③=(F③+G③+H③)-I③	千円	△ 46	△ 46	251	△ 106	△ 59	
当期指定正味財産増減額 K③	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L③	千円	4,832	-	-	-	-	

(注)表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。